

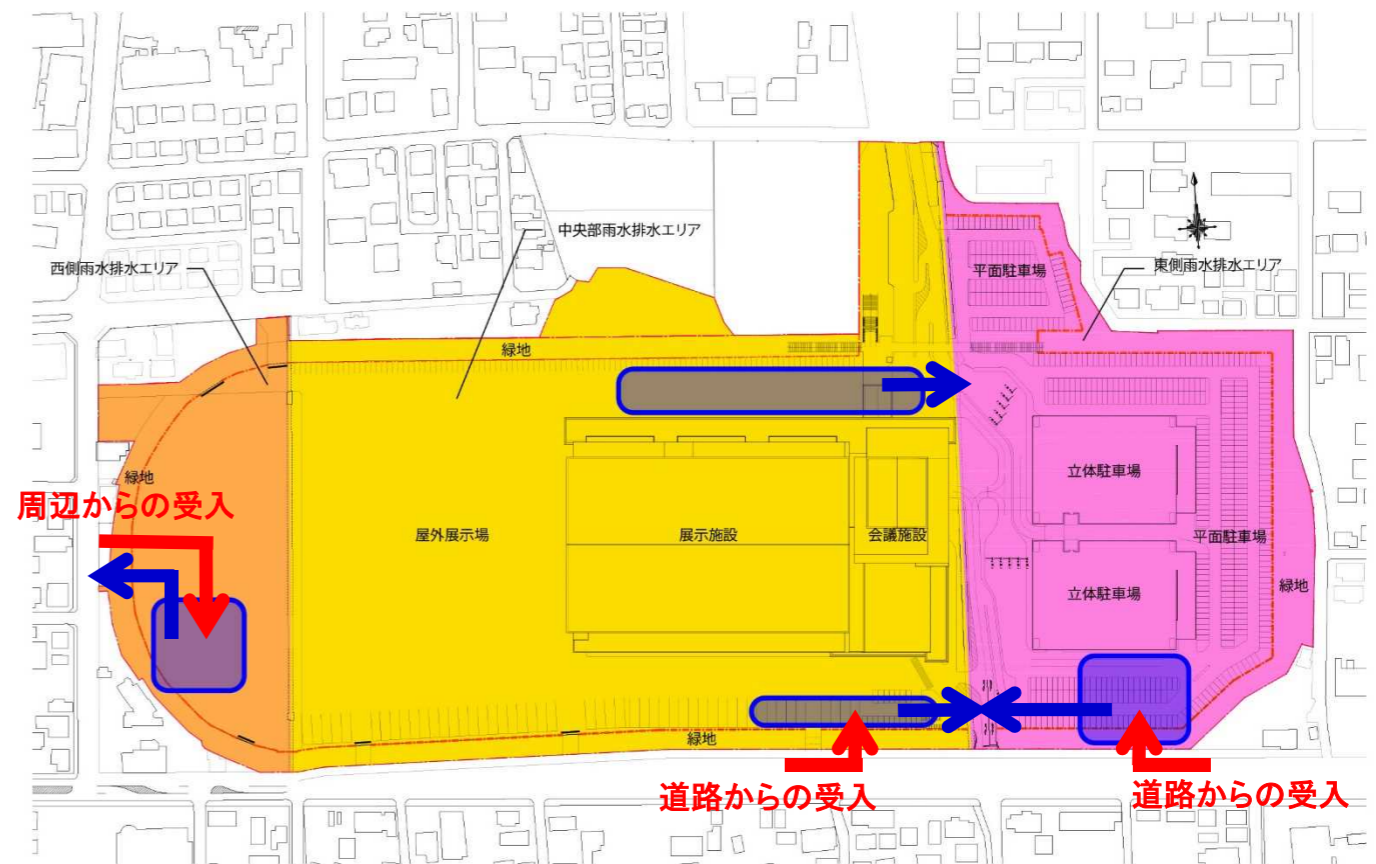
# 外構計画（1）



## 【造成計画】

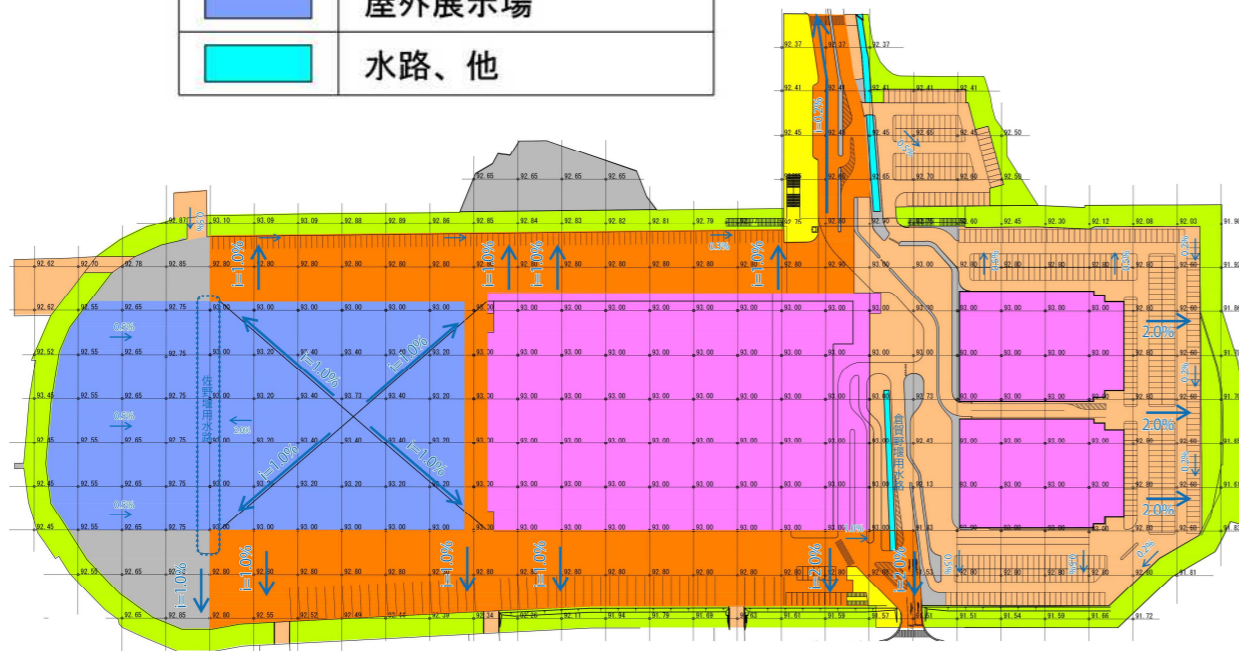
- 基礎工事、舗装工事や雨水貯留槽などによる発生土は、敷地外に搬出することなく、敷地内で有効利用できるよう計画
- 建物レベルから敷地境界へ0.5%~2.0%の排水勾配を設定し、建物に周辺地盤からの雨水が流入しないよう計画
- 設計GLを、標高93.0m、建物周囲の地盤を、標高91.5~92.6程度とする

### 凡例

図式	名称
	事業区域
	建築物
	緑地
	その他
	歩道
	車道（普通自動車）
	車道（大型車）
	屋外展示場
	水路、他



-  雨水貯留槽設置箇所
-  貯留層からの排水方向



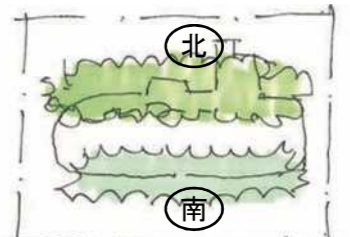
## 【雨水排水計画】

- 周辺には大雨時に溢水する箇所があるため、周辺道路からの雨水を一定量雨水貯留槽に受け入れる計画とする
- 敷地を、倉賀野堰用水路と佐野堰用水路で3分割し、それぞれのエリアにおいて、雨水貯留槽を計画
- 雨水貯留槽の容量は、都市計画法の開発許可基準等に準拠
- 開発後の流出雨水について、降雨時に全量貯留し、排水先の水路や排水管に余裕がある時に排水

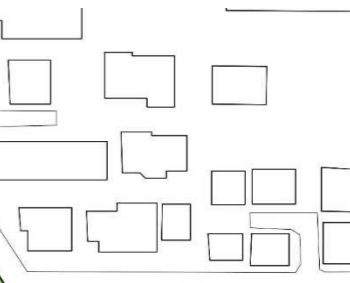
【緑地計画】

- 群馬の特徴である山の風景（北）、平地の風景（南）をモチーフに、群馬の縮景として植栽を表現
- 緑道を歩きながら、群馬県の四季を感じられるよう、県の木や花を中心とした植栽を配置をバランス良く配置
- 工事に支障のある樹木については、伐採とするが、サクラなど、隣地との境界にある樹形の整っているものについては、保存を検討
- 樹木は、県内で生産されているものを中心に用いる
- 群馬の歴史が感じられるレンガ材を、緑道にアクセントとして用いる

山の樹木（モミジ等）  
を中心に植栽



平地の樹木（ハナミズキ等）  
を中心に植栽



四季を演出する植栽計画



春：ソメイヨシノ（既存）など 夏：ナツツバキなど 秋：モミジ類、イタヤカエデなど 冬：ロウバイ、ウメなど